



編集・発行  
熊日多良木販売センター  
(代) 小出忠紹  
尾方隆博 石田敏郎 小出堅太郎  
球磨郡多良木町大字多良木356-1  
TEL 42-3355  
FAX 49-1726  
http://www.taragi.com/



あさぎり町岡原地区新成人の皆さん



新成人の主張で話す石尾まりさん

祝  
多良木町・あさぎり町で成人式

(宮原志穂さんの書)

1月4日(金)にあさぎり町で259名、1月5日(土)に多良木町で150名が新成人となりました。新たな権利を得ると同時に、責任を負うこととなりますが、これからの時代の担い手として頑張ってください。新成人5人の抱負を尋ねました。



**宮原春奈さん**  
あさぎり町岡原南(福岡) 社会人として、半年が過ぎましたが、先輩達に鍛えられながら、毎日寝坊しないよう頑張っています。

**清田雄司さん**  
あさぎり町岡原南(永岡) 現在大学では弓道に取り組んでおりますが、あと2年間、学業にも励み、大学生活を頑張りたいです。

**中神英章さん**  
多良木町多良木 社会に出てまだ2年目ですが、自分の中で足りない部分が多く、まだまだ残っているのだから、これを節目に自分を活かしながら進化していきたいと思っています。

**中村美喜さん**  
多良木町多良木 まだ学生で社会に出るまで、あと2年ありますが、社会に出た時に恥ずかしくないよう、日々努力していきたいです。

**宮原志穂さん**  
多良木町久米 社会人になり2年目。まだまだ未熟な面も多く感じられるので、20歳になったのをきっかけに、少しずつ成長していきたいと思っています。

### 心温まる贈り物

熊本善意銀行

1月21日あさぎり町岡原の特別養護施設「黒原荘」(施設長・国滝武夫さん)にガス炊飯器、22日多良木町のケアサポートグループホーム「若葉園」(代表取締役・久保田謙二さん)にハンド型メガホンを熊本善意銀行から寄贈されました。



当地区の熊日販売センターの小出忠紹店主が代理として両施設を訪れて贈呈式を行いました。黒原荘栄養士の田口美和さんは、「まさか炊飯器を頂けるとは」とびっくりされ、「これまでの炊飯器は大きすぎて少し炊きすぎたり炊き足りなかったり、これだけなかつたが、これで美味しいうち飯が炊けます」と大層喜ばれました。また、若葉園事務長の松浦正剛さんは「非常用とレクリエーションに使用したい。2月になって暖かい日にメガホンを使って避難訓練をやりたい」と話され、「皆様の善意で頂きました」と感謝されていました。善意銀行とは、県民の皆様の尊い善意に基づいて提供された金銭、物品、ボランティア活動などをとりまとめ、社会福祉施設、地域福祉、恵まれない方々のために払い出しています。



め、社会福祉施設、地域福祉、恵まれない方々のために払い出しています。(ハンド型メガホンを持つ介護士の嶋田栄子さんと事務長の松浦正剛さん)

### 木希記

◆肥薩線の八代人吉間が開通して今年がちょうど百年。昨年十月の本欄でも触れましたが、私たちの暮らしに直結するいろんな物資は長い間、鉄道で輸送されてきました。新聞もそうでした。新聞もそうでした。◆多良木販売センターのルーツにあたる当時の人吉店は、鉄道開通以前に球磨川を船、街道を馬車や大八車で運んでいたという記録が残ります。インターネットで世界の情報が瞬時に手に入る現代とは異次元の世界◆そうした手間や時間をかけながら球磨盆地に届く新聞は、貴重な情報源として多くの人たちの支持を受けてきました。自分の目で確かめ、考える新聞の特性は今後も不滅です◆物流の手段としては鉄道は後退しました。しかし、くま川鉄道でウンスンカルタを築きむ列車がテストされたニュースも報じられました。優雅な鉄道の旅は新たな活路を見出せるヒントになるのかもしれない◆六月には肥薩線百年の記念列車も計画されているとか。たまには列車の窓から風景や季節の変化、歴史の重みを感じてみませんか。今年最初の「もぞか」で初夢みたいなことを考えました。(X)

# 絵本読み聞かせ

球磨養護学校

本校小・中学部では月に1回程度熊本県子ども読書応援プロジェクト「おはなしボランティア派遣事業」を活用して人吉の絵本読み聞かせのボランティアの方に来校してもらっています。

今月は中学部の生徒に「西遊記」のお話をしてもらいました。中学部では2月の学習発表会で「西遊記」を上演することになっていますので、みんな興味を持ってボランティアの方に質問しながら話を楽しんでいました。

お知らせ

2月16日(土)  
10:00~14:00 サンロードにて高等部の作業学習製品販売を行います。



## お母さんといっしょ!!



よしずる  
吉鶴 杏梨ちゃん  
平成19年3月14日生  
多良木町多良木

父：吉鶴 光太郎さん 母：吉鶴 緑さん

【お母さんより】

もうすぐ保育園に通い始めます。笑顔が可愛い子供に育ってね!

## まかせてよ21世紀



落合 みなみちゃん  
平成19年4月10日生  
多良木町久米

父：落合 満さん 母：落合 恵美さん

【お母さんからのメッセージ】

離乳食は、残さず食べ元気いっぱいです。

## 環境にやさしい「木酢液」使ってみませんか

多良木町黒肥地、那須繁さん(56)は2年くらい前から木酢液作りに取り組んでおられます。

那須さんは、林業や土木の仕事に従事されていて、暇なときに広葉樹を利用して炭を焼き、木酢液を作っておられます。木酢液は環境や生活に役立つことを知り取り組まれたそうです。



濾過など問題は残りますが、生産は順調で販売も始めておられます。木酢液は病害虫防除や土壌改良効果や入浴にも(アトピー性皮膚炎、かゆみなど)効果が出ています。また、生ゴミ、下水、トイレなどの消臭効果も優れています。

お問い合わせは那須グリーン  
電話42-5004  
携帯090-1923-3156



## 41回続く仲良し同窓会

私達の恒例の同窓会が先達で行われました。

毎年1月15日(旧、成人式)を目安に開催して今年で41回目を数えます。昨年一同に古希を迎えた同志である戦前、戦中、戦後を体験した仲間と振り返ってみると様々な出来事が思い出されてきます。毎年顔触れは変わらないが、皆と会って話し合うと昔の事がつい先日の事の様に感じられ、親兄弟以上の親しみを感じます。この感激をいつまでも大切にしながら、末永く大事にして行きたいものです。



来年も再来年も元気で!!

原稿提供：  
尾方誠也さん

## 元気をもらった年賀状 ありがとう

「多良木町ボランティアわか草会育成協議会」(会長：池本ケイコさん)の子ども達から年賀状を受け取った、多良木町在住の高齢者の方からメッセージを頂きました。

多良木町多良木の宮原イツ子さんは「1人暮らしでずんだれとったけど、心温まる言葉を頂き、また、若い人のエネルギーをもらい今年も頑張ろうと思いました。」と感謝の意を語られました。さらに、多良木町黒肥地の椎葉静雄さんは、「本当の孫からもらったみたいで、とてもうれしいです。毎年頂くので、必ず1枚年賀状を残しておき、お礼の年賀状を書いています」と話され「風邪などひかずに、3学期も頑張って!」とエールを送られていました。



(写真は、椎葉静雄さん)